

2025 Calendar

「55」は、チーム・サムライ&日野ワークスのロバート・ダンハムさんのSCCA登録ナンバー

コンテッサ 1300 クーペ 55年の思い出

55年 群れず、慣れず、頼らず

今年は2025年、日野コンテッサ1300、最初に手にしたのは1970年、数年先は次のクルマと軽い気持ちが何と55年もの歳月を経た！

優雅なスタイリングと裏腹な走行性能、コンテッサを競技に供し、戦った先達は超人だったのか？それともレジスタンスか？

今だ、謎の解けないパズルに最適解を求め、閉ざされた情報&部品、自ら考え&実践、“群れず、慣れず、頼らず”と堀 文子さんのお言葉を糧に自創の旅は続いている！

(切り取られた自動車文化史 - 日野コンテッサ)



Created by HinoSamurai.org

The owner of HinoSamurai.org own the copyright of the content of this calendar.

江澤

1968年3月 第一回東京レーシングカーショー @東京晴海



現車&
現役

1966年9月カリフォルニアリバーサイド L.A. Times GP



クラッシュ
&スクラップ

1966年10月カリフォルニアリバーサイド L.A. Times GP



米国に残留
(現在?)

2025 Ver 1.0

January & February - 2025

1	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

2	S	M	T	W	T	F	S
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	

1970

1970年10月、憧れの日野コンテッサクーペを購入できず、セダンSで妥協。

ストングレーメタリックの個体、様々なトラブルで経験を積んだ。大晦日、筑波山への「筑波詣」が始まった。

1971年7月、モスグリーンメタリックのクーペに買い換え、2回目車検前の5万キロの個体はトラブルもなく、快調な走りを楽しんだ。勤務地の三島市との往復や遠出ですぐに10万キロを超えた。

くたびれたエンジンを日野ワークス「74エンジン」に交換し、ブレーキやホイールも強化型にグレードアップ、カスタムを楽しむきっかけとなった。

1970年10月自宅前



1973年8月 延山高原 国鉄最高地点



March & April - 2025

3	S	M	T	W	T	F	S
							I
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

4	S	M	T	W	T	F	S
			I	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

1976年4月 フローティングホテル・スカンジナビア (沼津市西浦)



1976

カスタムに終わりはなく、吸排気系やボディ色、特徴的なシングライト (プジョー204)、エアコン、サンルーフなど次々とカスタムが進んだ。

1976年4月、結婚、新婚旅行はコンテッサと共に。仲間のコンテッサに見送られ、ボデーは彼らの落書き、リヤには缶カラならぬ、エアークリーナーなど部品を引きずっていた！、横浜、箱根、伊豆を巡る3泊4日の旅を楽しんだ。

1977年5月、フレンチブルー・コンテッサの友人とお互いの愛車をベタ褒め、その場で交換。ただし、エンジンとブレーキ周りは自身のパーツを移植。

その後、信号待ちで同じカラーのいすゞエルフが並んだ！即全塗装の決断をした。

1977年7月 自宅にて



May & June - 2025

5

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

1977

フレンチブルーならぬいすゞエルフカラーから
ミケロッチェさんがイメージしたレモンイエローに
変更、自宅で初の钣金&全塗装を行った。

完成後はまず筑波詣、記念撮影は迎賓館前。

1976年末には、縁あって「チームサムライ・コンテッサ」の前オーナーから
実車と大量のレーシング部品&スぺア車を購入。

専門工場で足回りを整備し、1977年4月末のTACSに出場。伝説となった
「リバイバル船橋」、フロントローに案内されたが、周囲の有名ドライバー&
クルマたちに圧倒、ローリングスタート後、彼らは飛ぶような勢いだった。

1977年8月 都内 迎賓館赤坂離宮前



1977年4月 TACS スピードフェスティバル リバイバル船橋



July & August - 2025

7	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

8	S	M	T	W	T	F	S
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

1981

1981年7月、友人所有のNACの塩沢進午氏制作の「DELダンディツーリングSPL」の購入を勧められ、即購入&引取り。

その後、サンルーフ撤去など大規模な補修・改良を進め、実に快適なクルマに仕上げ、子供たちの成長とともに20年近く楽しんだ。

一方、ピート・ブロックさんのBREサムライコンテッサは1978年末に全塗装後、公道復帰。さらに日野のエースドライバー山西喜三夫さんと共にTACS筑波レースに参戦開始、第一ヘアピンでのカウンター走行に盛り上がった！

この車両は日野が1968年の富士300kmレースで最後に使用したもので、そのドライバーは山西さんだった。運命的な縁を感じさせるものであった。

1983年12月 市内 八柱霊園



1983年9月 TACS スピードフェスティバル P68クラス (3画像合成)



September & October - 2025

9	S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29	30

10	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					

1995

1992年秋、サムライコンテッサは第一回ミッレミレアジャパンの日本GP再現レースに招待出場。当時同様にエンジンプローまでリアルに再現、思い出深いイベントとなった。

1995年には日野自動車の依頼で東京モーターショーに出展し、目に触れる外装を100%正確にBRE仕様に戻した。多くの皆さんの目やカメラに焼き付き、実に幸せなサムライコンテッサとなった。

2006年、米国人の間合わせプロジェクト開始、ヤフオクで3万キロ極上無垢の青セダンを購入、ロス走行に向けて、消耗部品全てを米国のどこの街にもあるNAPAで購入、走るための基本整備を進めたが、輸出直前に破談となった！

その後、外観を整えJCCA NYM 2009に出展して優勝。車検取得し、エンジンや足回りを強化、遠出も楽しみ、2013年に新しいオーナーに嫁いだ。

2009年11月 箱根プリンスホテル



1995年10月 第31回東京モーターショー モータースポーツの世界



November & December - 2025

11	S	M	T	W	T	F	S
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	28	28	29
	30						
12	S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

2014~

2001年からサムライコンテッサのリ
ファービッシュを開始し、レーシングカー
制作の教則本に沿ってエンジンや足回り、電気配線など全面的に改修。

2013年に公道復帰後、熱海や横浜のコンクールに出展し優勝を果たしたが、
静止展示中心の評価に満足せず。

そんなことやイベントでの茶飲み話に縁を切り、「速く走ったものが一番、
それ以外はびりっけつ」のクルマ本来の走る場を探し求め、身の丈にあった選
択肢はジムカーナだった。

筑波サーキットジムカーナ場のビ筑を選択、2016年の第一戦から参戦、今日に
至る！競技の場は車格無し、歳も関係なし、同じ目線の人格なのだ！

2014年11月 横浜ヒストリックカーデイ



2023年9月 ビ筑 第5戦 HISクラス



コンテッサ1300、サーキットに咲き、サーキットに散る



くるまにあ 1982年5月号



オールドタイマー Mo.2
1991年秋号



オートコバン 1986年7月号
特別号



1300カーペル
ドライバー 1987年5-5月号



ドライバー 1988年7-5月号



ダンハム車：
現車&現役

A Collection of S. EZAWA

米加州エルセグンド市、BRE/チームサムライ 1967年シーズンに向けて (1967年1月)

背景画像：第10回 日本スポーツカー富士300キロレース大会
#55 山西 喜三夫：セダンクラス 6位入賞 (1968年3月24日)
日野自動車最後のレース活動

山西車：現車
&現役

須永車：解体



週刊読売 1994年2月27日



カーグラ 1994年3月号



1995年10月 第31回東京
モーターショー



カー・マガジン 2009年4月
号 JCCA NYM

HinoSamurai.org



くるまにあ 1982年5月
号 レストアガイ/コン
テッサ1300クーペにす
べてを賭ける男



オートコバン 1986年7
月号 特別号 名車スクラ
ンブル DEL コンテッサ



ドライバー 1987年5月
号_UNIQUE CAR
CLOSE-UP_コンテッサ
1300クーペL



ドライバー 1988年7-5
号 男のロマン・ツールに
はメカを征服する喜び
が...



オールドタイマー No.2
1991年12月 秋号 ブラ
イベート・レストアラー
の優雅な私生活_コン
テッサ・コレクション



週刊読売 1994年2月27
日 今もバリバリの現役
伝説の「国産レトロ
カー」たち



カーグラフィック 1994
年3月号 新春旧車集会楽
屋話 けっこうフルイ六人
衆



1995年10月 第31回東
京モーターショー モー
タースポーツの世界



カー・マガジン 2009年
4月号 JCCA New Year
Meeting



Never Fade Away
日野コンテッサ1300

